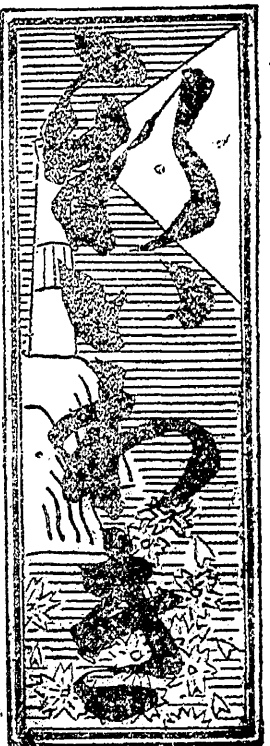


【刊夕】日三十月七



休日大衆日 日一十月三年五和昭 日一十月三年五和昭 日一十月三年五和昭

### 助役推薦を中心

#### 各派算を亂す策動

互に腹を探り合ふ茶番劇  
何れに大入を占むるやう

平町の後任助役は愈々伏見 勿論各派それらの策のあ 町長の腹が詰まつたものにとりて互に腹を探り合ふ 見られてゐる之れに對する 茶番劇と見られるところ少 町會の同意が果して如何な なる態度に出づるであらうか 此の経緯を願る

#### 興味視

され新黨辛 本俱樂部の策動は其の後 町田氏の引入れに努め現在 中派の大をなしてゐるが 同派の進みとする候補者 に必ずしも一致の歩調を 安全と されざるもの あり而して之れに組する であらうとの一、二の分野 に於て野崎派を最も可能性 あるものと唱ひられ居るも 同派關係の三町議に一人 黨の櫻井及び

#### 萩原派

の百田(五) 二町議が加はる新味會なる ものを意味するものか 殊に吉田氏の勧誘を以て荒 川淺次郎氏を同會に引かん と傳へらるゝものゝ如き町 議間の動きは漸く

#### 算を亂

す表面觀を 呈するに至つたが裏面には

### 平町議に 新味會

十一月五名の 同志で發會式

中町會議員各派が後任助役 の人選に關し策動頻りなる ものありて過激政黨派の 超越を標榜する幸未俱樂部

### 打續く降雨の爲め 本年の稻作を悲觀

來る廿日前に晴ればば 普通作は覺束なからう

石城地方は今月三日以來降 雨八分の天候で人心を極度 雨八分の天候で人心を極度 雨八分の天候で人心を極度

#### 未だ確

かなもので 其影響 だらうと云

れてゐる日頃の米價は若 干上向を呈し來る廿日後の 大候が幸ひに攝氏三十度以 上の氣温に上昇すれば稻熱 菌を熱滅して仕まふので同 病害を 除去さ れるが普通 大候位に回復したのでは之 ねに胃されるものも少なく なからうと想像され本年の 米作に對する目下の見込み は何れかと云へば悲觀され てる

### 恩給證書 横領の訴

平町字堂の前元警署銀行支 配人瀧澤俊平は昨年同町 立町居住の吉田翁助より保 管方を依頼されたる恩給證 書金額一千四百圓を横領し たといふので今十三日吉田 より平署へ告訴狀を提起さ れた

### 天候不順で 病害虫發生

引つゞ天候不順のため石 城地方一帶の農作物は病虫 害に冒され農家は何れも天 氣を仰いで嘆息してゐるが 郡好間村の一部水田には早 稲が被害を受けてゐる

### 激烈な 亂賣戰を演

石城郡野崎村藤原の周旋業 廣瀬忠一郎は去月中湯本町 廣瀬忠一郎は去月中湯本町 廣瀬忠一郎は去月中湯本町

### 他人の子で 百七十五圓

石城郡野崎村藤原の周旋業 廣瀬忠一郎は去月中湯本町 廣瀬忠一郎は去月中湯本町 廣瀬忠一郎は去月中湯本町

### 泥酔して 大暴れ

石城郡内郷村大字宮宇瀧尻 無職佐久間真吉(三)は昨十 二日午前十時ごろから同村 内の高坂坑飯場頭島田寅藏 方で強飲酒の擧句折柄祭 合せた坑夫高野久江と些細 のことから大喧嘩を始め手 當り次第に家具什器を毀し たので駐在の巡査に取押へ られ検束

### 平十三日會

中町十三日會では今十三日 午後七時半からマルトモホ ールで講演會を開演するが 今回の講師は元日本郵船會 社これ丸船長吉田金作氏 である

め農民は極度に狼狽してゐ して殘金を拂はため平署 へ訴へられ取調へ中

### 當の外れた春蘭收入 見込商人も算狂ひ

石城地方の春蘭も漸く一段 落を告げ農家の懐中には昨 年とは比較にはならぬがそ れでも相當纏まつた金が轉 げ込んだため平町の商人筋 はこの時とばかり買掛 代金の 請求や品物 買込みの出張販賣戸別訪問 戦術に忙がしく之に東京方 面から蚕上りを目掛けて夏 物をしこたま背負ひ込んだ 吳服屋連も加はり連日の降 雨にも拘らず

### 財布の 口を固くと

ざして金を出さない始末に 商人連は當てが外れて何れ も悲鳴をあげ東京から入り 込んだ吳服屋さんと思ひの 外の賣行不振に不やたらた らで引揚げて行く有様であ

### 憎ま 口

曲線美と云 なる所を云ふものだらう 緑美の反對 伯とやらの發明した言葉で ないのだから其の爲め犯 罪が増加した功勞も少なく ないのだから其の方面から 敵滅法に振ひつきたい程美 世の中のごぞる

### 川 柳

世からくり(夫) 浦島は無事かと藤太尋ね たら 此秀卿は當時弓矢射つて並 ぶ者なき勇姿だつたので龍 宮の依頼を受けて三上山の 宮の依頼を受けて三上山の 宮の依頼を受けて三上山の

### 十寸叟生

其時龍宮へ迎へられて大饗 武藏坊辯慶が毎夜五條の橋 應を受け致々の禮物を買つ 上で千人斬をした今日も三 體の曲りくねつた格好を禮 した事のある水の江の浦島 家は役所から檢使が出るが 無事かどうかと尋ねられ 毎日毎日の事だ檢使の役人 も云ふ云ふと云ふと云ふと 浦島は無事かと藤太尋ね たら 此秀卿は當時弓矢射つて並 ぶ者なき勇姿だつたので龍 宮の依頼を受けて三上山の 宮の依頼を受けて三上山の

### 憎ま 口

曲線美と云 なる所を云ふものだらう 緑美の反對 伯とやらの發明した言葉で ないのだから其の爲め犯 罪が増加した功勞も少なく ないのだから其の方面から 敵滅法に振ひつきたい程美 世の中のごぞる

### 憎ま 口

曲線美と云 なる所を云ふものだらう 緑美の反對 伯とやらの發明した言葉で ないのだから其の爲め犯 罪が増加した功勞も少なく ないのだから其の方面から 敵滅法に振ひつきたい程美 世の中のごぞる



稲田の  
除草に就て (九)  
二番田の草

其の時はまた多少田面に種々なる小草が雑生するから落水して三番除草の如く縦

横に軽く田面の表土だけ傾すか或は手を以て表面の小草を掻きながら何れにても此の時は雑草除きの目的にて表面だけ掻きながらすのである、之れが即ち四番田の草である

而して愈上稲の株張が豫期に達し相當に繁茂するに至る五月廿二、三日乃至遅くも七月廿五、六日頃(舊十月中)晴天續日を見計らへ

三、四間全部落水して田面を乾かし止草をするのである其の時若し雑草の生き残りがあるか又は雑草の成れでもあれば手を以て表面をならし除草を行ふことも良しい、之れを五番除草とも云ふ其の乾かす程度は田面の表土が漸く足跡のつく位の程度まで若しまた其の際

稲が出稼過ぎる場合は少々熟稔の生ずる程度まで乾かすのを可とする之れが即ち無効遅れ分蘖を抑制する一つの手段であり

また一は分蘖したる稻莖の根本まで充分に日光に晒れしめて同化作用をして充分に熟ましむるためである殊に此の頃になれば窒素肥料を施せるもの感は深肥や

深水の爲め又は風通しの悪い所に植えられ常に軟弱に發育したるもの等は少しく気温冷涼続きたる場合には動もすれば稻熱病に罹り易き時期である故に田面を乾かして稻の莖葉を強健にすることは最も肝要なことである

驚異的の効果を有する婦人薬  
座薬 美神丸  
内服薬 美神湯  
婦人病に悩む方々に一度は實驗を勧む

町代理店 平町五丁目角  
山野邊藥局

スペイン G.H.N元 詰  
甘味葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
¥ 1.10  
御婦人の方には少し水を加へて召し上るさ風味一そう佳良です  
(平二) 西村屋藥舖 (電三)

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります  
そば一升 三錢  
そばこ 八錢  
そば一ぱ 五錢  
平町土橋 福麥 マルマン商店 電話四八九九

債券、公債、兩替金融  
多田井質店  
平町 大工町  
電話 五九一 番

醫院開業  
私儀今般左記場所を醫院を開業一般診察に従事致すべく候  
平町新川端(釜屋新宅向)  
難波 醫學博士 難波 院  
電話 五〇二 番  
内科一般 午前九時より午後九時  
但し急患は此限りに非ず

高商屋  
良品の店  
高商屋  
平町五丁目

健康長壽の源泉  
朝日養素  
一二木、友澤醫學博士の實驗推獎  
脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過、足、妊婦等に最も大なる効果があります、○百開一見に知かず一ヶ月飲んで見て下さい(一合代價七錢)

藤沼醫院  
電話七〇五番  
山澤荷入物夏  
伊関吳服店

服んで良くなる  
淋病と 特效薬 濟淋  
本舖 責任製劑 水野藥局  
平町一丁目  
電話 八八七六

諸毒下しの大妙薬  
安流丸  
平町五丁目角  
持約 山野邊藥局

平町南町  
大森醫院  
小兒科 醫學士 大森 勇  
電話 二五八 番

セルズボン  
2.30 せん  
なかや洋服店 平町 電話 203

親切と迅速をモットーとする  
大野寫眞館  
平町仲田町  
寫眞の御用命は當館へ……